

酒田市男女共同参画推進センター

ウィズ・レター

No.111



- 目次 ▼「これアンコン！」受賞作品の発表
▼家事育児パパママ交流セミナー実施報告 ▼学生向け講座実施報告
▼女性に対する暴力をなくす運動パネル展実施報告
▼令和6年度第1回男女共同参画・女性活躍推進懇話会実施報告

令和6年度

「これアンコン！」

受賞作品5作品が決定しました！

今年度、6月から8月にかけて募集を行った「これアンコン！」では、総勢72名、101エピソードの応募がありました。ご参加いただいたみなさま、本当にありがとうございました。今回は、その中から「グッときたエピソード」として選出されました上位5作品をご紹介します。来年度の男女共同参画週間（令和7年6月23日～29日）に実施するパネル展では、この5作品はもちろん、その他の作品についても展示を行う予定です。全国各地から募集した「これアンコン！」なエピソード、どうぞお楽しみに！

「私、料理しないんです」

私、料理はあんまりしないんです。実は家にどんな調味料があるのかも把握してなくて…。そう言うと相手は少し面食らった顔をする。え、女性なのに？みたいな。我が家では夫が料理をし、掃除や洗濯は私が担当する。料理好きな夫は作ったことのないものに挑戦したり、記念日などにはちょっぴり手の込んだものを作るのが得意。ごはんの時間は私の大好きな時間でもある。私、料理はしません。その後に必ずこう続ける。旦那さんの料理、とっても美味しいので！

(ペンネーム：おは)

ママレモンはあるのに、
パパレモンはない？

「ママレモンやママーはあるのに、パパレモンやパパーはなぜないの？」小学生の娘が言った。食器洗いやパスタを茹でるのは、ママの役割とは限らない。子どものまっさらな目を通した気づきに、大人が当たり前に思っていることも、考え直させられた。旅館に行くと、配膳の際には、しゃもじや茶器は女性が届きやすい側に置かれ、反対に、朝刊は男性側に置かれるのも、ジェンダー規範を内面化している一例といえよう。

(ペンネーム：もこもこ)

3？40代はみんなお母さん？

初対面の方とお話する時、無意識に共通の話題を探そうとしてしまいがちです。同じ年代の方と話す機会があった時、「お子さんおいくつですか？」と聞いてしまいました。「子どもはいてないんです」と返ってきた時、はっとしました。彼女の雰囲気から、PTAにいてそうな、世話好きなお母さん、そんなイメージをしていました。同世代の同性だからといって、私の身近な世界観の中だけで話してしまったことで、誰かを傷つけてしまうこともあるのかと、違う境遇を想像出来なかった自分自身を反省しました。

(ペンネーム：Ann)

男性？女性？

取引先に「圭」さんという方がいた。メールでの丁寧な言葉遣いや気配りから、私はてっきり女性だと思っていた。しかしオンライン会議で初めて顔を合わせ、圭さんが男性だと知り驚いた。私は二つの無意識のバイアスに気づかされた。まず、「圭」という名前で性別を判断したこと、そして、丁寧な仕事をするのは女性だという先入観を持っていたこと。相手を性別に関係なく個人として尊重し、判断することの重要性を再認識した。

(ペンネーム：みずの)

女性でも食べるんです！

30代、女性。弟とラーメン屋に行った時のこと。大盛りと小盛りを注文した。確認することもなく、私の前に小盛り、弟の前に大盛りが提供された。「逆だよ！」心の中でツッコみつつ、無言で交換する姉と弟。

(ペンネーム：チック☆)



「これアンコン！」は
来年度も募集するのん！
今年度募集してない方も、
ぜひ参加してもらえたら
うれしいのん！

家事育児

パパママ交流セミナー

～子育て中のパパ達から、家族でシェアするコツを学ぼう～

●日時：令和6年10月19日（土） ●会場：酒田市交流ひろば 市民活動・交流コーナー ●参加者：19人（男性10人・女性9人）

日頃から家事育児をされているパパたち4名を講師にお迎えし、男性育休取得や家事育児シェアの状況などについてお話しいただき、家事育児の楽しさ、家事育児シェアの意義・苦勞を共有しました。また、懇談の時間では、講師が一人ずつグループに入り、参加者それぞれの家庭の悩みを熱心に聞き入ってアドバイスをしていました。参加者の皆さんにとっては、セミナーや懇談を通じて、日々の生活や家事育児シェアについて前向きに考える良いきっかけになったことと思います。



コーディネーター
いがらし たけひろ
五十嵐 健裕 氏

やまがたイグメン共和国 大統領
NPOファザリングジャパン東北 理事
山形県職員

●家族構成：6人（妻、長男18歳、長女16歳、次女12歳、次男2歳）
●育児休暇：第四子のときに（休暇+休業1カ月）

家事・育児で仕事力＆幸福度UP

- ★男性の家事・育児の新規参入に必要なこと
 - ・パパ側の目的・意識づけ：
 - NG「手伝う」「妻に勝つ」
 - ・パパたちがまずやること：
 1. 土日1～2日の家事体験→妻への感謝
 2. 妻の話は黙って聞く
 - ・妻側の「規制緩和」：
 - 下手な家事に対する“寛容の精神”
 - 自分レベルの家事クオリティを求めない、小学校教員の気持ちで
- ★育休で得た最大の気づき
 - 「隣の芝生はいつも青い」
 - ・万人に共通の正解はない
 - ・納得解を得るにはコミュニケーション

★男性育休の取得（良かった点）

- ・子どもをみる事ができた
- ・奥さんから「旦那さんがいるだけで安心した」と言われた
- ★家事シェア
 - ・子どもにできることは子どもにやらせよう（自立心を養う）
- ★心がけていること
 - ・決め事を作りすぎない
 - ・頑張りすぎない・手抜きする
- ★一番大事に思うこと
 1. コミュニケーション
 2. 思いやり



ゲストスピーカー
いたがき たくと
板垣 卓渡 氏

株式会社東洋開発 取締役
●家族構成：5人（妻、長男7歳、長女6歳、次男0歳）
●育児休暇：長男と長女のときに（一週間）

素敵な講師
パパたちの皆さま

《 事例紹介から 》

★Googleカレンダーや
タスク管理アプリで
予定を共有。

★フランスの育児休暇
（父親編）

1. 出産休暇：企業が支払い、国が保証する3日間の有給休暇。全ての父親に義務付けられている。
 2. 父親休暇：出産休暇3日・有給休暇4日の後に、21営業日分の有給休暇が続き、週末などは含まれない。この21日間は、連続して、且つ、子が生まれてから最初の6ヶ月以内に取得する必要がある、80%の父親がこの休暇を取得している。
- ※これら二つは、自営業者にも適用される
3. 育児休暇：長期の休暇で性別に関係なく取得可。最大1年間取得できるが、有給ではない。2回まで更新でき、最大3年間取得可。企業はこの休暇を拒否できず、取得する従業員の解雇も不可。

★ズバリ、現在の
家事・育児レベルは

⇒ とりあえず一通り
できます！

★大切にしている二つのこと

- ・一緒に決める（お互いの気持ちを理解する）
- ・親が頑張りすぎない（子どもと一緒に成長する）
- ★日々の積み重ねが大切
 - ・パートナーと一緒に考えましょう
 - ・不確定な時代だからこそ早めに計画
 - ・限りある人生を楽しみましょう

酒田市民役所職員

●家族構成：5人（妻、長女8歳、次女6歳、長男2歳）
●育児休暇：長女、次女と長男のときに（一週間）
+次女（休業3カ月） +長男（休業1カ月+2カ月）



ゲストスピーカー
さとう しゅんたろう
佐藤 俊太郎 氏

ゲストスピーカー
ガンバリーニ
ピエール 氏

シェ・ピエール 店長
●国籍：フランス
●家族構成：3人（妻、長女0歳）

参考になること、
いっぱい
あったね！



子どもと一緒に
参加できて、
いい雰囲気だね！



講師のみなさんのトークはとても共感する点が多く、日々の子育て・生き方を前向きに考えるきっかけになりました。子どもが将来、自立した家庭生活を送れるよう、手伝いをさせることが大事だということが印象に残りました。(50代男性)

★参加者のアンケートから

最後のグループでの話がとても有意義でした！(30代女性)

育児の悩みを共有できてよかったです。(30代男性)



妻と夫で参加したい内容でした。(30代男性)



フランスの育休のことが聞けて、本当に良かったです。国によって制度が違うと、その国で育った男性は自然に子供との関わりが多くなるのではと思いました。(40代女性)



アプリを使ったスケジュールの見える化は取り入れていきたい。(50代男性)

こちらからダウンロードできます →



他のご家庭の家事・育児のお話を詳しくお聞きすることがなかなかないので、分担の方法・がんばりすぎないという事が大事なと感じました。「〇〇でなければならない」「〇〇しなければならない」をやめたいと思います。(40代女性)

すてきなお父さん達のお話、もっと多くの人に聞いてほしい！と思いました。(60代女性)



デートDV防止講座 ～お互いを大切にする関係とは～

8月29日（木）酒田西高等学校と共催しました！【参加者：1学年98人】

講師：山形県男女共同参画推進員 安田 綾子 氏

今年度、2校目となる「デートDV防止講座」では、今回も講師の安田綾子さんから、生徒に身近な内容の動画を交えながら、デートDVの基礎知識と、人と人がより良い関係性を築くために必要なことを学びました。また、自分を大切にすること、自分軸と他人軸どちらも大切にすることなど随所に講師からの熱いメッセージがあり、生徒の皆さまにとって、日々の学校や家庭での生活の中で、また、これから進学や就職をし、それぞれの人生で様々な人と関わっていく中で、お互いを尊重し合い、良い関係性を築くことにつながる良い機会になったことと思います。



【酒田西高等学校の皆様】

★参加者のアンケートから

- 気をつけなければいけないことがたくさんあったので、今回のことを活かしていきたい。
- 自分のこれからの行動について、よく考えることができました。
- 自分軸をしっかり持って、相手に流されずに人間関係を築いていきたい。自分をもっと好きになる！！
- 改めて人との関わり方を、もう少し考えてみようと思った。



【ロールプレイの様子】

「女性に対する暴力をなくす運動」パネル展を開催しました



毎年11月12日～25日は、「女性に対する暴力をなくす運動期間」です。女性に対する暴力の根絶は、誰もが安心して暮らせる男女共同参画社会を実現していくうえで重要な課題です。ウィズでは、この期間に合わせ、市役所1階のフリースペースでパネル展を、1階エントランス及びこども未来課前にて、パープルリボンの展示を行いました。

パネル展などは来年度も開催するのん！
今回見逃してしまったという方にも、来年はぜひ見てもらいたいのん！



←こども未来課で実施する「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」と一緒に展示を行いました



令和6年度第1回 男女共同参画・女性活躍推進懇話会を開催しました

外部の有識者の皆さまから、本市の男女共同参画・女性活躍の推進についてたくさんのご意見をいただきました。今年度からは、地域・教育・福祉等の各分野から新たに6名の委員が加わっています。

詳しくはこちらをご覧ください →



酒田市民部共生社会課 男女共同参画・多文化共生係
男女共同参画推進センター ウィズ

開館 月～土：9:00～22:00
日・祝：9:00～17:00
相談 月～金：9:00～16:00（祝日除く）

〒998-0044 酒田市中町三丁目4-5
交流ひろば内

Tel：0234（26）5616
Fax：0234（26）5617
E-mail：kyousei-with@city.sakata.lg.jp



▲ウィズHP

